

座間中学校だより

令和6年11月29日

教頭:江崎 NO.7

今年は暖冬という話もありましたが、日に日に寒さを感じるこの頃です。11月は17日にふるさとまつりが開催され、30日には青少健のふれあいまつりが開催されます。23日には、青少年健全育成連絡協議会の皆様方や、本校PTA役員さん、イベントサポーターの皆さんが集まり、なべ洗いをさせていただきました。ふれあいまつりでは、例年同様に豚汁がふるまわれる予定です。この豚汁の野菜は、地元の農家の方に提供いただいております。このような地域との関わりは、様々な場面でつながりを深めてくれます。日頃から多くの方が学校のお応援団であることを改めて感じる事ができ、感謝の思いでいっぱいです。

さて、来月には三者面談があります。限られた時間ではありますが、有意義な時間となれば幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◆◆◆ スマイルウェーブ ◆◆◆

19日には、本校体育館で「スマイルウェーブ」という催しが行われました。

これは、正式名称が「県央地区かながわ子どもスマイルウェーブ地域フォーラム in ZAMA」というものです。もとはH24年に県内の子どもたちの代表が参加した「かながわ元気な学校づくり全県生徒代表総会」において、「かながわ元気な学校づくり生徒宣言」が決められ、「広げよう つながり、笑顔、コミュニケーション みんなの一步が全ての始まり」というスローガンが定められました。それを受けて県内各地で行われている運動が「スマイルウェーブ」です。

今年のスマイルウェーブは、座間中学校、立野台小学校、相武台東小学校、座間総合高等学校の4つの学校で、それぞれの学校や学校間の交流等について児童・生徒主体の発表会となりました。



座間中学校からは、2学年の生徒会本部役員5名が参加し、立野台小学校の児童と谷戸山公園で触れ合った「谷戸山探検隊」のここと、校内でのあいさつ運動「アイティブ」とそこから派生した正門でのあいさつ運動のことを発表しました。

参加された方々からも、地域の良さ、子どもたちの良さを褒めていただく声を多く耳にしました。

◆◇◆ アイティブ（あいさつ運動） ◇◇◆

生徒会本部公約「Attractive School」を実現するために、前述したあいさつ運動を行いました。正門で行うあい

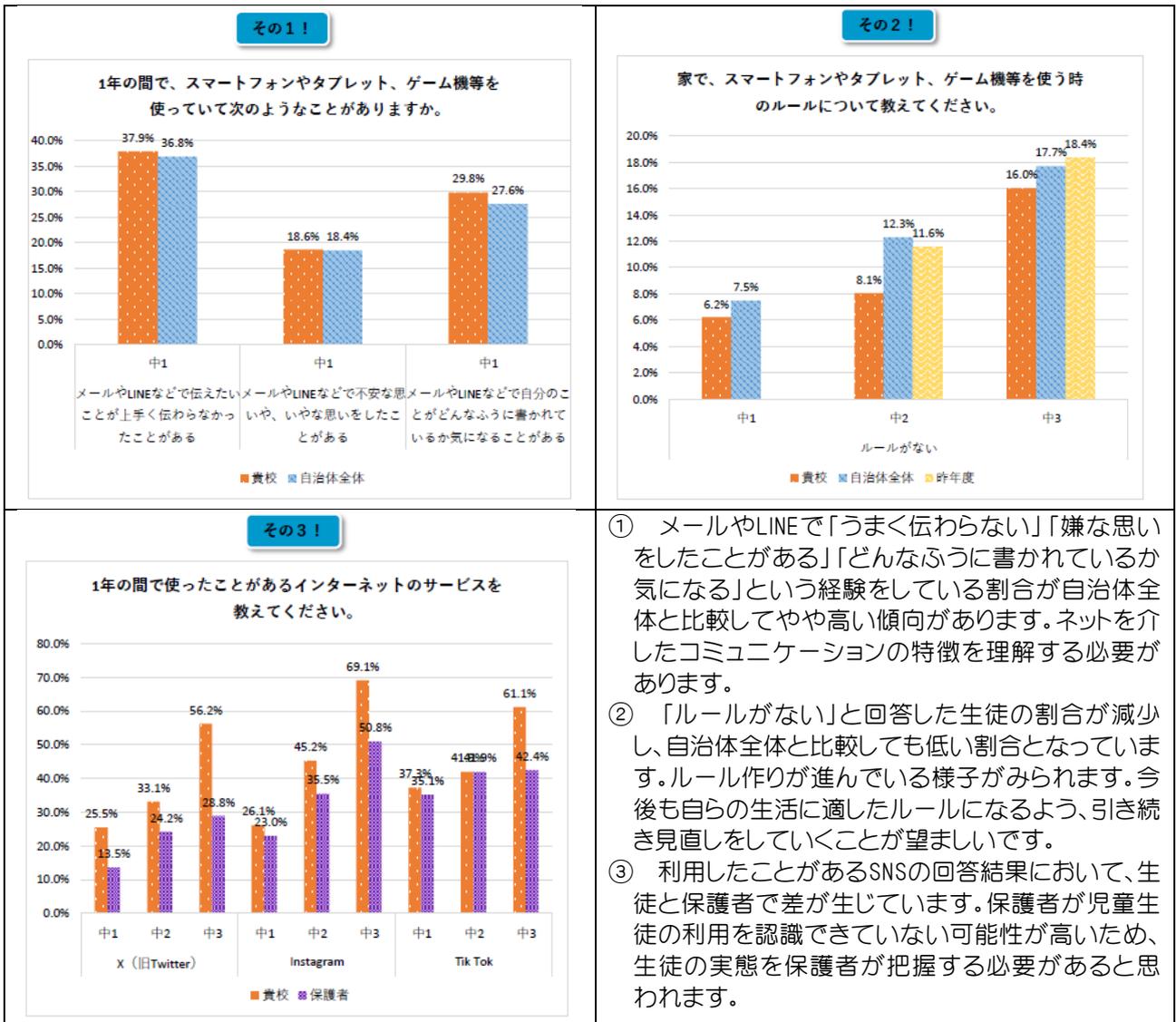


さつ運動と、移動時に腕章を付けて行うあいさつ運動の2種類です。校内でのあいさつの頻度も上がったように感じます。また、正門でのあいさつは、立野台小学校の子どもたちがあいさつをたくさん返してくれました。



◆◇◆ 情報モラル実態調査の報告 ◇◇◆

9月に生徒および保護者の方対象に行った「情報モラル実態調査」の結果および要約を業者の方を通じて教えていただきました。本校の3つの特徴です。



- ① メールやLINEで「うまく伝わらない」「嫌な思いをしたことがある」「どんなふうにかかれているか気になる」という経験をしている割合が自治体全体と比較してやや高い傾向があります。ネットを介したコミュニケーションの特徴を理解する必要があります。
- ② 「ルールがない」と回答した生徒の割合が減少し、自治体全体と比較しても低い割合となっています。ルール作りが進んでいる様子がみられます。今後も自らの生活に適したルールになるよう、引き続き見直しをしていくことが望ましいです。
- ③ 利用したことがあるSNSの回答結果において、生徒と保護者で差が生じています。保護者が児童生徒の利用を認識できていない可能性が高いため、生徒の実態を保護者が把握する必要があると思われます。

ネットの世界は表に見えにくい世界でもあります。機会を見つけてご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。